令和2(2020)年度
学士課程

金沢大学

私費外国人留学生入試
学生募集要項

KANAZAWA UNIVERSITY

目　　次

■出願手続から入学までの日程 …… 3
■出願方法［インターネット出願］ …… 4

Ⅰ．私費外国人留学生入試
1．入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）… 5
2．障がいのある者等の出願……13
3．募集人員……13
4．出願資格……13
5．出願条件……14
6．実施教科・科目等……15
7．選抜方法……16
8．試験期日・試験時間……19
9．出願方法……20
10．出願期間……20
11．出願書類等……20
12．入学検定料の支払……22
13．受験票の印刷……22
14．合格者発表……22

Ⅱ．学生生活
1．入学手続……23
2．入学時に必要な経費……23
3．学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険…23
4．入学料免除・入学料徴収猶予……23
5．授業料の納入……23
6．授業料免除……24
7．金沢大学学生特別支援制度……24
8．奨学金……24
9．学生留学生宿舎……24
10．学生寮……25
11．保健管理センター……25
12．携帯型パソコンの準備……26
13．申請書類等の請求及び照会先……26

Ⅲ．その他
1．入試情報の提供……27
2．入学試験の個人成績の開示……27
3．個人情報の保護……28
4．問合せ先……28

【付図】
1．金沢大学所在地略図……29
2．金沢大学キャンパス配置図……30

（注）本入学者選抜に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

『自然災害により被災された志願者の皆さんへ』

金沢大学では，自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学の機会を確保するため，入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など，免除に関する詳細につきましては，金沢大学（入試情報）Webサイトをご覧ください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

入学検定料の免除を希望される方は，出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

■出願手続から入学までの日程

	人間社会学域 学校教育学類 国際学類 理工学域 数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類	人間社会学域 人文学類 法学類 経済学類 地域創造学類 医薬保健学域 保健学類	医薬保健学域 医学類 薬学類・創薬科学類
インターネット事前登録開始	令和元（2019）年10月11日（金）	令和2（2020）年1月14日（火）	
出願期間	令和元（2019）年 10月21日（月）～10月25日（金）	令和2（2020）年 1月21日（火）～1月24日（金）	
受験票印刷可能日	令和元（2019）年11月13日（水）	令和2（2020）年2月13日（木）	
学力検査等	令和元（2019）年11月30日（土）	令和2（2020）年 2月25日（火）	令和2（2020）年 2月25日（火）～2月26日（水）
合格発表	令和元（2019）年12月11日（水）	令和2（2020）年3月7日（土）	
入学手続	令和2（2020）年 2月12日（水）～2月18日（火）	令和2（2020）年3月15日（日）まで	
入学	令和2（2020）年4月		

【留意事項】不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により，発表内容や試験時間等を変更する場合は，金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので，出願前や受験直前に必ず確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト　https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

■出願方法［インターネット出願］

金沢大学の出願方法はインターネット出願限定です。
学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。

インターネット出願の流れ（志願者が行う事項）

- 金沢大学Webサイトへアクセス
- 募集要項の記載内容を確認
- 出願情報の入力・登録
- 入学検定料の支払
  コンビニエンスストア，銀行ATM（pay-easy対応のもの），クレジットカード，ネットバンキングから選択可能
- 証明写真のアップロード
- 出願書類の印刷
- 出願書類の郵送　※出願期間内に必着

出願完了

出願期間内に出願書類を受付し，不備がなかった場合

（注意）出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは，出願完了とはなりません。

※インターネット出願の詳細は，金沢大学Webサイトを確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト　https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

《インターネット出願デモサイト》

インターネット出願を体験できるデモサイトを，本学Webサイトに掲載しています。

Ⅰ．私費外国人留学生入試

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢大学アドミッション・ポリシー

(1)　金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久２）年，加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は，旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として，1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は，そのありうべき姿を，現在，金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち，金沢大学憲章は，その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は，本学の活動が21世紀の時代を切り拓き，世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこととし，その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは，以下のものに他なりません。

「金沢大学は，学生の個性と学ぶ権利を尊重し，自学自習を基本とする。また，教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して，専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

(2) 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）と求める人材像

さらに，教育の国際化とグローバル人材育成が声高く叫ばれている今，金沢大学は，上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために，金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めました。これは，各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる，大学全体のアドミッション・ポリシーとなるものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）（抄）

「本学は，各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし，知識基盤社会の中核的なリーダーとなって，常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。」

すなわち，金沢大学は，このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく，なによりも，このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

学域・学類等のアドミッション・ポリシー

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では，人間をその行動，思想，歴史，文化，言語，文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて，人間性と社会性に富む教養と課題発見能力，社会的応用性を備えた専門的知識，的確な自己表現の能力，そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- 人間の行動，思想，歴史，文化，言語，文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち，勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- 文献読解から実験，フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び，その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- 広い視野を持ち，多様な価値観や伝統，異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- 高等学校等で学習する国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語について総合的な基礎学力を有する人
- 国語および英語をはじめとする外国語における文章の読解能力，論理的思考能力，そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針

日本留学試験，TOEFL，国語の試験および面接により知識・表現力・意欲等を重点的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び，探究する事柄は，人間に関する様々な事象が対象となりますので，高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において，法と政治に関する基本的な理念や知識は，個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では，このような認識に基づき，法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて，現代社会が抱える諸問題を発見し，将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材

- 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- 国内外の社会問題に関心を持ち，よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人

・論理的思考や情報分析を通じて，また，過去の歴史的経緯をふまえつつ，社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

選抜の基本方針

日本語能力及び英語能力に加え，日本語による面接を通じて，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
・法律や裁判例の読解，政治的問題の把握，これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
・社会的・国際的諸問題の本質を探究し，その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では，多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し，一般入試に加えて，高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とする推薦入試，および帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と，勉学に対する強い意欲を持ち，基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

・経済学・経営学に関する体系的知識を学び，現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
・営利・非営利のビジネスに関心を持ち，将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

日本語の文章に関する理解力，論理的思考力，表現力に加え，大学入学後の計画，大学の授業を理解するための基礎的知識等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても，国際的な分野においても，人間社会で活躍するためには，国語・英語および情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では，特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済およびそこでの日本の位置づけを理解するためには，その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには，これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり，理科を学んでおくことを望みます。

【学校教育学類】

激しく変動するグローバル社会の中で，これからの学校教育における新たな学びを支える教師には，教科や教職に関する専門的な知識および実践的指導力に加え，絶えず自律的に学び続け，学校を取り巻く現代社会の変化や諸問題を的確に把握し，使命感を持って課題解決にあたる姿勢が求められます。また，様々な社会的背景を持った多様な子どもたちに向き合い，より深く，共感的に理解しつつ，子どもの発達等に関する専門的知見を踏まえながら，一人一人の子どもたちのニーズに応じた対応が求められます。

学校教育学類は，こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的，計画的に養成することを主たる目標としており，専門職としての教師への熱意にあふれ，かつ地域における文化の形成に寄与する人材を求めます。

学校教育学類には，教育科学コースと教科教育学コースのもと，教育基礎，特別支援教育，国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，家政教育，英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に，本人の希望，適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

・自立した専門職としての教師を目指す人
・社会，自然，人間，文化，教育について深い関心を持っている人
・自分の考えを表明し，他者との対話を通じて，反省的に自己を形成していこうとする人
・教育を通じて，地域社会の再生と発展に貢献しようとする意志を持っている人

選抜の基本方針

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお，本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では，小学校一種免許状と，中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから，次の３点を望みます。

・小学校・中学校・高等学校およびそれらに相当する学校など，これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
・これまでの学校経験を省察するなどして，学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は，地域の自然的・文化的資源，伝統，人材，資金，社会関係などを専門的に分析把握し，自治を活かした地域固有のスタイルで，住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに，新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため，質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

地域創造学類には福祉マネジメント，環境共生，地域プランニング，観光学・文化継承の４つのコースがあります。推薦入試以外の学生は，２年次から本人の希望，適性，学業成績等を考慮して各コースに所属します。

求める人材

・大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
・地域創造力を修得するために，本を読み，文章を書き，地域に出かけ，能動的に学修する努力を惜しまない人
・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

選抜の基本方針

小論文課題を論述することにより，基礎的知識・思考能力・論述能力等を総合的に評価します。面接では，多面的な質問をおこない，勉強意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では，福祉マネジメント，環境共生，地域プランニング，観光学・文化継承の各コースにおいて，専門的総合的に地域創造学を学ぶことから，高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また，地域の諸問題を調査・分析し，政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として，地域社会に対して強い関心を持ち，自ら主体的に情報を集め，自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は，実践的な英語などの語学力を活用して，将来，外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人，海外の NPO，NGO で経験を積みたい人，多国籍企業で力を試したい人，外国人に日本語・日本事情を教えたい人，国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な，多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靭な知性と深い共感力，国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力，具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会，日本・日本語教育，アジア，米英，ヨーロッパの5つのコースがあり，また，国際社会，米英の両コースには，英語だけで卒業できる英語プログラムもあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望，適性，学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

・多文化や多民族，及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける，探究心あふれる人
・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために，努力を惜しまない人
・探究心とコミュニケーション能力を用いて，諸問題を粘り強く話し合い，国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
・将来，国際的な場での活動への従事を目指す人
・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

パターンAでは英語及び日本語の文章を読ませ，それに関する問いに日本語で答えさせます。これによって，英語の知識とともに，社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。また，面接では，基礎知識や日本語によるコミュニケーション能力，勉学意欲を十分に有しているかを判断し，日本留学試験の成績や英語外部試験（TOEFL-iBT 又は IELTS（アカデミック・モジュール））のスコアと合わせて，総合的に判定します。パターンBでは英語による文章を読ませ，それに関する問いに英語で答えさせます。これによって，社会・文化についての知識や論理的思考力及び英語能力を総合的に評価します。また，面接では，基礎知識や英語によるコミュニケーション能力，勉学意欲を十分に有しているかを判断し，日本留学試験の成績や英語外部試験（TOEFL-iBT 又は IELTS（アカデミック・モジュール））のスコアと合わせて，総合的に判断します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では，グローバル化する世界を多様な観点から理解し，異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために，本学入学前に「英語」や「政治・経済」,「世界史」,「地理」などの学習に積極的に取り組み，これらの教科の知識を十分に獲得しておくことを望みます。また真の国際人として活躍するためには，自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで志願者には，日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことの能力は，大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。ただし，私費外国人留学生入試志願者で，英語プログラムを希望する者は，日本語能力を必要としません。国内外において外国の人々と，積極的にコミュニケートする意欲をもつことも望みます。入学後の研究テーマによっては，これらに加えてグローバル・イシューに関係する様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学，物理学は長い歴史をもつ学問として，互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また，計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により，これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では，21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学，物理学，計算科学を学ぶことを通じ，国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的，あるいは物理的なものの見方，思考法及び洞察力を身につけ，教育，情報・通信，金融をはじめ，高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び，2年進級時に本人の希望にもとづき，数学，物理学，計算科学の3つのコースのいずれかを選択し，より専門的な内容の学修へと進みます。

数物科学類では，数学・物理学の基礎に加えて計算機の技術も学ぶことでバランスのとれた力を身につけることができる特徴があります。科学の基礎分野における問題意識や基本原理を学び，様々な数理・自然現象を説明することができる

こと，最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力を身につけること，コミュニケーション能力や表現能力，種々の自然現象を数学・物理の原理に基づいて分析し計算機の助けを借りて解析し，自ら課題を発見して論理的考察を行い，科学的実証により問題を解決することを重視します。

求める人材

・数学や物理学に興味をもち，それに取り組む熱意と探究心をもっている人
・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
・将来，数学，物理学，計算科学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
・基礎科学をじっくりと学び，それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

基礎学力に加え，数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び日本語・英語の語学力を重視するとともに，面接により日本語能力，勉学意欲，資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において，5教科7科目（数学，理科，外国語，国語，地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び，そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から，21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製，さらに日常の生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では，化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し，社会のグローバル化を積極的に担える理学及び工学的素養を身につけた人材の育成を目標としており，“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望，学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち，実験を通して創造的に自然と関わりたい人
・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち，発見の感動を味わいたい人
・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し，社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

数学・化学及び英語の学力を重視するとともに，面接により，大学の授業を理解するための基礎知識，日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について充分に理解できていることが必要です。さらに，化学を含む理系科目（理科，数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語，外国語，社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また，高校生活の中で，日常的な科学現象に興味を持ち，それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では，技術者・研究者として，安全で安心な生活を支え，かつ，向上をもたらす様々な工業製品から，最先端技術の開発に至るまでを対象とした，先進的な設計技術，超精密加工，高度なシミュレーション技法の研究，さらに，エネルギー問題の解決に取り組み，ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために，機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ，基礎学力の上に立脚した応用能力を涵養し，先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また，自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため，倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は，物理学・数学を駆使し，原子・分子レベルから，巨大構造までを対象とした最適設計法，超精密加工技術，新素材の開発など，未知の領域に挑む分野から，環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など，自然の保護と持続に貢献する分野まで，広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

・先端機械工学への興味，モノづくりへの熱意，人間支援に対する高い志を持ち，講義，実験や実習，さらには研究に積極的に参加して行動できる人
・技術倫理についての自覚を持ち，地球環境への関心が高く，グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
・独創性と創造性があり，自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

日本語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を重視するとともに，面接により，日本語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について，十分理解しておくことが必要です。また，身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで，幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では，機械工学，化学工学，電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して，ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き，グローバルな観点から，工学の飛躍的な発展と，近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には，ロボティクス，航空宇宙工学，高度センシング技術，ナノテクノロジー，新機能性材料など技術革

命をもたらす先進的な分野から，医療福祉工学，生活支援機器，化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで，広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず，電子機械，機械，化学工学，電子情報の4つのコアプログラムと，知能ロボティクス，バイオメカトロニクス，マテリアルデザイン，計測制御システムデザイン，ヒューマン・エコシステム，ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせて履修します。

求める人材

・ロボティクス，航空宇宙，スマートビークル，スマートセンシング，インテリジェント制御，ナノスケール計測，高分子，微粒子材料の開発など，新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
・メカトロニクス，医療福祉工学，物質システムを中心とした，機械工学，電子情報工学，化学工学の分野でエンジニア，研究者，教育者の道に進みたい人
・グローバルな視点からの技術革新を通じて，次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
・人間性，独創性と創造性が豊かで，自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

日本語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を重視するとともに，面接により，日本語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について，十分理解しておくことが必要です。また，身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで，幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は，持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は，電気エネルギー創成・変換，ナノテクノロジー，光・電子デバイス，宇宙探査，セキュリティ，人工知能，IoT（Internet of Things），ビッグデータ，クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し，電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

・エネルギー，エレクトロニクス，情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
・科学実験やコンピュータなどに関心があり，電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
・数学が得意な人，物理学，数学の応用に積極的に取組みたい人

選抜の基本方針

日本語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を重視するとともに，面接により，日本語によるコミュニケーション能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目においては，理系科目及び文系科目ともに重要であるため，確実に修得しておくことを望みます。また，一般入試の個別学力検査で課している科目（数学，物理，英語）については，入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので，しっかりと学び，身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では，共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき，グローバル社会をリードする人材育成のため，われわれ人類の生存基盤となる地球，日常の生活基盤となる社会，及びそれらを取り巻く環境を対象に，理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため，地球惑星科学・環境科学や環境工学，土木工学，防災工学，都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い，地域からグローバルまでさまざまな局面において，社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み，これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には，地球惑星科学，土木防災，環境都市の3つのコースがあり，各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望，学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

・自然現象に対する科学的探究心のある人
・人文社会科学にも関心のある理系人間
・実験・野外調査や，ものづくり・創意工夫に興味のある人
・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
・地球惑星科学，環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
・地球・環境・都市の課題に対し，科学技術を通した社会貢献がしたい人
・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針

日本語の聴解・読解力に加え，理系基礎科目である数学，物理，化学及び英語の学力を重視するとともに，面接により，学類での授業を理解するための基礎知識，日本語によるコミュニケーション能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について，しっかりと身につけておくことが必要です。特に，理系科目である数学，理科，また英語については，応用能力を含め，しっかりと身につけておくことが必要です。また，総合的な学力を身につけるために，理系のみならず，人文社会系科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており，様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では，生命に関する真理の探求を目指す生命科学，産業応用と技術開発を目指すバイオ工学，それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から，グローバル社会を牽引する研究者，技術者，さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では，新分野を切り開く学術的探究心に富み，理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム，海洋生物資源，バイオ工学の3つのコースがあります。また，各コースへの所属は，2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- 生命現象に対して興味を持ち，理科系科目が得意で，実験や野外調査が好きな人
- 日本海の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- 基礎生物学，分子生物学，進化生物学，生態学，システム生物学，遺伝子工学，バイオ工学，バイオリファイナリー，生命情報学，環境科学，多様性生物学，海洋生物学，保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- 生命科学やバイオ工学の分野で，新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- 理学と工学の基礎知識を備えて，グローバル社会をリードし，生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

数学，理科，英語の学力を評価します。日常の生活に必要な日本語の読解・筆記能力も重視します。面接では，学類での授業を理解するための基礎知識や勉学意欲，コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について，しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学，理科，英語については，応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また，自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は，従来の医学部医学科に相当し，卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ，合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で，医学類では，社会の変化に適応しつつ，多様かつ高度な医療ニーズに応え，プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し，知識や技能の習得能力，論理的及び倫理的な思考力，協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

なお，外国人留学生については，医師国家試験が日本語で行われる関係上，相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針

選抜の方法としては面接試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため，高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と，単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり，偏りなく身につけておくことが望まれますが，特に理数系科目に重点を置いています。また，自己表現能力，課外活動（ボランティア，部活，生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性），やり遂げる力（継続力）等を面接試験で評価します。

【薬学類】

薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い，共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後，学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

求める人材

- 国内外の大学・研究機関において，医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い，次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- 高度な専門性を活かし，人類の健康増進や医薬品等の適正使用，創製を通じて社会に貢献することを志す者
- 先進的医療や薬剤師教育に主体的に取り組む医療従事者や，衛生行政従事者を志す者

選抜の基本方針

授業を理解するための高い学力を個別試験により，素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について，しっかり理解することを求めます。特に，理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【創薬科学類】

薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い，共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後，学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

求める人材

- 国内外の大学・研究機関において，医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い，次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- 製薬企業等の研究所において，病気で苦しむ世界中の人々を救う医薬品等の創製に携わることを志す者
- 人類の健康維持増進に取り組む国内外の衛生行政機関等において，主導的役割を果たすことを志す者

選抜の基本方針

授業を理解するための高い学力を個別試験により，素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について，しっかり理解することを求めます。特に，理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【保健学類】

保健学類は，「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し，豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し，国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は，1）現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成，2）日本語・外国語による討議・発表能力の育成，3）保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得，4）保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成，5）豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養，6）学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では，国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており，このため募集単位は看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻の5専攻を設けます。

【看護学専攻】

看護科学は，人間の誕生から死までを包括的に捉え，人々が，グローバル化する社会，多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では，健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに，学内及び学外の医療，保健及び福祉現場での実習を通じて，高い倫理観，専門職としての使命感，医療チームの一員としての責任を学びます。また，研究やゼミを通し，将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識，問題解決方法などを学び，将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に，看護実践力のある指導者，教育者，研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には，看護師，※保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

※保健師課程については，平成26年度入学生から選択制としています。保健師として将来就職を希望する学生（最大50名：学類学生45名，編入学生5名）で，所定の科目を履修し，その単位を修得した者のみが，卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【放射線技術科学専攻】

放射線技術科学は，放射線，磁気，超音波を使用した医療機器の原理や特性，情報処理技術，各種の医療画像形成法，人体の形態，機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに，医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また，研究室配属を通じて，将来の放射線技術科学を担う課題探求能力や，研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には，診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【検査技術科学専攻】

検査技術科学は，主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し，医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また，研究室配属を通じて，進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は，リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより，神経，筋，骨格，循環器，呼吸器などに損傷や障がいをきたした人に対して，運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では，理学療法士となるために必要な治療技術を科学的，実践的に修得するとともに，医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には，理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識，技術，コミュニケーション能力を修得し，専門職としての能力を高め，研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ，生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し，研究を進め，技術を開発し，社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には，作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- 看護の専門技術や知識を高めて，社会に貢献する意欲を持つ人
- 病める人に対する医療のために，情熱を燃やすことのできる人
- 人間の健康，医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- 保健の分野で，新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- 看護学及び看護の進歩のために，将来のリーダーとなる夢を持つ人

【放射線技術科学専攻】

- 診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- 高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- 専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- 患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【検査技術科学専攻】

- 病める人に対する医療のために，知識や専門技術を高めて，社会に貢献する情熱を持つ人
- 医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- 臨床検査技術の進歩に貢献し，将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- 豊かな人間性と愛情を持ち，学習意欲の高い人
- 社会のニーズに応え，努力を惜しまない人
- 理学療法学の今後を担い，人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- たゆまず努力して，自分の能力を高めようとする人

・専門技術や知識を高めて，社会に貢献する意欲を持つ人
・病める人に対する医療のために，情熱を燃やすことのできる人
・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

学力検査により本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し，面接を通じて，志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む），英語能力及び本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため，文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【放射線技術科学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり，理科・数学を学んでおくことを望みます。また，文章を正確に読解し，事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には，数学，物理，化学及び生物学の考え方や知識が必要で，高等学校においてこれらの教科の履修を望みます。また，情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語，社会，数学，理科，英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

本学では，日本の国籍を有しない者で，本学における学修意欲の高い志願者に対し，受験の負担を軽減するため，大学入試センター試験を免除する「私費外国人留学生入試」を設けています。各学類等が求める資質，意欲及び適性等について面接により多面的・総合的に評価します。

2. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で，障がい等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，本学に事前相談書等を提出し，相談してください。

なお，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく，本学の個別学力検査等において，「代筆解答」を必要とする者は，下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また，事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も，直ちに本学へ相談してください。

(1) 事前相談期限　令和元（2019）年10月8日(火)

（なお，事前相談期限を過ぎてからの相談の場合でも対応はしますが，必ずしも要望に沿うことができないこともあります。）

(2) 提出書類

① 事前相談書（次の事項及び連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）について記載したもの。様式は問いません。）

ア　志願者氏名
イ　志望学域・学類等及び受験予定の入試区分
ウ　障がいの種類・程度
エ　受験について配慮を希望する事項
オ　修学について配慮を希望する事項
カ　高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
キ　日常生活の状況
ク　その他参考となる事項

② 医師の診断書（上記ウ，エ，オ，キに関する項目も記載してください。）
③ 大学入試センター試験の「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入試センター試験で，受験上の配慮を認められた者のみ）
④ その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係
〒920-1192　金沢市角間町
電　話　076-264-5169，5177～5179（平日午前9時から午後5時まで　※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）
ＦＡＸ　076-234-4042
E-mail　boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

3. 募集人員

各学域・学類とも若干名

（注）1. 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の合格者で補充します。
2. 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への移行は，2年次からとします。
3. 薬学類（6年制），創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への配属は3年次後期からとします。
4. 保健学類は，専攻ごとに募集します。

4. 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で，次の（1）及び（2）に該当するもの

(1) 次のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2（2020）年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者
④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Ａレベル）資格を取得した者
⑥ 外国において，国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ，アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和2（2020）年3月までに修了した者及び修了見込みの者

(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2018年度又は2019年度日本留学試験を受験した者（薬学類及び創薬科学類を除く）

［注意事項］

入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格**（原則として「留学」）の取得が必要です。**「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが，その場合，「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また，短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。

5. 出願条件

(1) 保健学類検査技術科学専攻については，日本留学試験において，指定された科目を受験し，その合計点の得点率が60％を超えていること，並びに，TOEFLにおいて，得点率が60％を超えていること。

(2)「4.出願資格 (1) ⑤」については，GCE Aレベル試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価は下表のとおりです。

○　本学の出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし，「生物」，「経済」，「地理」，「政治」，「歴史」，「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし，「数学」１科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類・創薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし，「数学」，「物理」，「化学」の3科目を含むものとする。
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし，「数学」1科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。

［出願資格の確認］

出願前に出願資格の有無について確認を希望する場合は，下記の期限までに，氏名・生年月日・国籍・学歴（小学校入学から）を記載した書類，日本の高等学校に相当する学校の卒業（見込み）証明書及び成績証明書を送付してください。特にインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については，出願を認めないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので，早めに照会してください。

なお，これらの書類のうち，日本語又は英語以外の言語で作成されたものには，必ず日本語の訳文を添付してください。

①　期限

人間社会学域（学校教育学類，国際学類），理工学域（全学類）	令和元（2019）年10月9日（水）
人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類），医薬保健学域（全学類）	令和2（2020）年1月3日（金）

②　書類送付先

〒920-1192　金沢市角間町　金沢大学学生部入試課入学試験係

6. 実施教科・科目等

学域・学類等			日本留学試験の利用する教科・科目等（注1）								英語能力	学力検査等（注8）
			日本語	総合科目	数学	理科 物理	理科 化学	理科 生物	出題言語	利用試験（注2）		
人間社会学域	人文学類		◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択				日本語又は英語	6月又は11月	TOEFL	国語（国語総合）の内の現代文 面接
	法学類								日本語			小論文と面接
	経済学類											
	学校教育学類（注3）	パターンA	◎	◎					日本語又は英語			
		パターンB	◎			○	○	○				
						2科目選択						
	地域創造学類		◎	◎					日本語			
	国際学類（注3）	パターンA	◎	◎							TOEFL-iBT又はIELTS（アカデミック・モジュール）（注4）	
		パターンB（注5）		◎					英語			
理工学域	数物科学類		◎		◎ コース2	◎			日本語又は英語	6月又は11月	TOEFL	面接
	物質化学類		◎			◎	◎					
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類（注6）		◎			◎	◎					
	地球社会基盤学類		◎			◎	◎					
	生命理工学類		◎			○	○	○				
						2科目選択						
医薬保健学域	医学類		◎		◎ コース2	○	○	○	日本語	6月又は11月	TOEFL	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理科（物理基礎・物理と化学基礎 化学） 面接
						2科目選択						
	薬学類 創薬科学類（注7）		課さない									数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理科（物理基礎・物理と化学基礎 化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接
	保健学類	看護学専攻	◎		◎ コース2	○	○	○	日本語	6月又は11月		理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接
						2科目選択						
		放射線技術科学専攻										数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 面接
		検査技術科学専攻										
		理学療法学専攻										面接
		作業療法学専攻										

（注）1. ◎は必須科目，○は選択科目を示します。
2. 日本留学試験は，2018年度又は2019年度の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。
（ただし，学校教育学類，国際学類及び理工学域においては，出願期間の関係上，2019年度11月の成績は利用できません。）
3. 学校教育学類及び国際学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は，パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。

4. 国際学類のTOEFLはTOEFL-iBTのみ，IELTSはアカデミック・モジュールのみとします。
5. 国際学類においてパターンＢによる受験をした者は，入学後に配属されるコースは，国際社会コース又は米英コースのいずれかとします。
6. 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
7. 医薬保健学域の薬学類（6年制）及び創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への配属は，3年次後期からとします。
8. 学力検査等の「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」,「数学Ｂ」,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」,「地学基礎・地学」の出題範囲については，次のとおりです。
「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」…それぞれ全範囲を出題範囲とします。
「数学Ｂ」……「数列」,「ベクトル」を出題範囲とします。
「物理基礎・物理」…「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
「化学基礎・化学」…「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。
「生物基礎・生物」…「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。

7. 選抜方法

大学入試センター試験を免除し，2018年度又は2019年度日本留学試験（薬学類及び創薬科学類を除く），学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

成績証明書（調査書）は，履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

志望する学域・学類等が課す日本留学試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格とします。

学域・学類等		選　抜　方　法
人間社会学域	人文学類	1　大学入試センター試験を免除します。 2　選抜は，学力検査，面接，TOEFL，日本留学試験の結果に基づいて行います。 3　配点：日本留学試験　85点 TOEFL　25点 国語　40点 面接　100点 〈採点・評価基準〉 面　接：大学入学後の計画，大学の授業を理解するための基礎知識，日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。
	法学類	1　大学入試センター試験を免除します。 2　選抜は，学力検査，面接，TOEFL，日本留学試験の結果に基づいて行います。 3　配点：日本留学試験　85点 TOEFL　25点 国語　100点 面接　90点 〈採点・評価基準〉 面　接：日本語による試問を通じて，日本語能力，法学・政治学に対する勉学意欲と資質を判断します。
	経済学類	1　大学入試センター試験を免除します。 2　選抜は，小論文，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：日本語の文章を読解させ，理解力，分析力，論理的思考力，表現力等を評価します。 面　接：高校時代の日本内外における体験，大学入学後の計画，大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。
	学校教育学類	1　大学入試センター試験を免除します。 2　選抜は，小論文，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：与えられた課題を理解して，論理的に論述できる思考力，表現力等を評価します。 面　接：本学類としての適格性を評価します。（なお，本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的としています。）
	地域創造学類	1　大学入試センター試験を免除します。 2　選抜は，小論文（100点），面接（100点），TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ，課題に対する基礎的知識，思考能力，論述能力等を総合的に評価します。 面　接：多面的な質問を行い，勉学意欲や地域創造学類への適格性等を総合的に評価します。

<table>
<tr><th colspan="2">学域・学類等</th><th>選　　抜　　方　　法</th></tr>
<tr><td rowspan="1">人間社会学域</td><td>国際学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，小論文，面接，TOEFL-iBT又はIELTS（アカデミック・モジュール），日本留学試験の結果に基づいて行います。
3　配点：日本留学試験，TOEFL-iBT又はIELTS（アカデミック・モジュール）　110点
小論文　100点
面接　　90点
〈採点・評価基準〉
小論文：パターンＡでは英語及び日本語の文章を読ませ，それに関する問いに日本語で答えさせ，英語の知識とともに，社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。パターンＢでは英語による文章を読ませ，それに関する問いに英語で答えさせ，社会・文化についての知識や論理的思考力及び英語能力を総合的に評価します。
面　接：以下の点を中心に評価します。
①　大学での国際学の学習に必要な基礎的知識と関心を有しているか
②　パターンＡでは日本語，パターンＢでは英語によるコミュニケーション能力を備えているか
③　論理的な思考力を有し，自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いか</td></tr>
<tr><td rowspan="4">理工学域</td><td>数物科学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</td></tr>
<tr><td>物質化学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</td></tr>
<tr><td>機械工学類
フロンティア工学類
電子情報通信学類</td><td>1　機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の3学類で一括選抜を行います。
2　大学入試センター試験を免除します。
3　選抜は，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力，工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</td></tr>
<tr><td>地球社会基盤学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，面接，TOEFL，日本留学試験の結果に基づいて行います。
3　配点：日本留学試験　600点
TOEFL　200点
面接　200点
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</td></tr>
<tr><td>生命理工学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，面接，TOEFL，日本留学試験の結果に基づいて行います。
3　配点：日本留学試験　600点
TOEFL　200点
面接　200点
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力，理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">学域・学類等</th><th>選　　抜　　方　　法</th></tr>
<tr><td rowspan="8">医
薬
保
健
学
域</td><td colspan="2">医学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，学力検査，面接，TOEFL，日本留学試験の結果に基づいて行います。
3　配点：日本留学試験　850点
TOEFL　120点
数学　200点
理科　200点
面接　100点
〈採点・評価基準〉
面　接：医療人としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">薬学類・
創薬科学類</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，学力検査（数学300点，理科600点，外国語300点），面接，TOEFLの結果を総合して行います。
〈採点・評価基準〉
面　接：大学入試センター試験に代えて，素質・適性・学力並びに日本語能力を面接により評価します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">保
健
学
類</td><td>看護学専攻</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，学力検査，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。
3　配点：日本留学試験　500点
TOEFL　200点
外国語　200点
理科　200点
面接　400点
〈採点・評価基準〉
面　接：医療人としての適格性を評価します。</td></tr>
<tr><td>放射線技術科学専攻</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，学力検査，面接，TOEFL，日本留学試験の結果を総合して行います。
3　配点：日本留学試験　850点
TOEFL　120点
数学　200点
理科　200点
面接　100点
〈採点・評価基準〉
面　接：医療人としての適格性，放射線技術科学専攻での勉学意欲，及び日本語能力などを総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>検査技術科学専攻</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　出願条件
日本留学試験において，指定された科目を受験し，その合計点の得点率が60％を超えていること，並びに，TOEFLにおいて，得点率が60％を超えていること。そのうえで，以下の試験を行います。
3　選抜は，学力検査，面接の結果を総合して行います。
4　配点：数学　200点
理科　200点
面接　100点
〈採点・評価基準〉
面　接：医療人としての適格性，検査技術科学専攻での勉学意欲，及び日本語能力などを総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>理学療法学専攻</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，日本留学試験，TOEFL，面接の結果を総合して行います。
3　配点：日本留学試験　600点
TOEFL　200点
面接　200点
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力及び医療人としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td>作業療法学専攻</td><td>1　大学入試センター試験を免除します。
2　選抜は，日本留学試験，TOEFL，面接の結果を総合して行います。
3　配点：日本留学試験　600点
TOEFL　200点
面接　200点
〈採点・評価基準〉
面　接：日本語能力及び医療人としての適性を評価します。</td></tr>
</table>

8. 試験期日・試験時間

<table>
<tr><th colspan="3">学　域　・　学　類　等</th><th>試　験　期　日</th><th>試　験　時　間</th></tr>
<tr><td rowspan="7">人間社会学域</td><td colspan="2">人文学類</td><td rowspan="3">令和2（2020）年2月25日（火）</td><td>国　語　12：20～13：50
面　接　14：20～</td></tr>
<tr><td colspan="2">法学類</td><td>国　語　12：20～13：50
面　接　14：40～</td></tr>
<tr><td colspan="2">経済学類</td><td>小論文　9：20～10：50
面　接　12：20～</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校教育学類</td><td>令和元（2019）年11月30日（土）</td><td>小論文　9：20～10：50
面　接　12：20～</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域創造学類</td><td>令和2（2020）年2月25日（火）</td><td>小論文　9：20～10：50
面　接　12：20～</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際学類</td><td>令和元（2019）年11月30日（土）</td><td>小論文　9：20～11：20
面　接　12：20～</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">理工学域</td><td colspan="2">数物科学類</td><td rowspan="5">令和元（2019）年11月30日（土）</td><td rowspan="5">面　接＊</td></tr>
<tr><td colspan="2">物質化学類</td></tr>
<tr><td colspan="2">機械工学類
フロンティア工学類
電子情報通信学類</td></tr>
<tr><td colspan="2">地球社会基盤学類</td></tr>
<tr><td colspan="2">生命理工学類</td></tr>
<tr><td rowspan="9">医薬保健学域</td><td colspan="2" rowspan="2">医学類</td><td>令和2（2020）年2月25日（火）</td><td>理　科　12：20～14：20
数　学　15：10～17：10</td></tr>
<tr><td>2月26日（水）</td><td>面　接＊</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">薬学類・創薬科学類</td><td>令和2（2020）年2月25日（火）</td><td>外国語　9：20～10：50
理　科　12：20～14：20
数　学　15：10～17：10</td></tr>
<tr><td>2月26日（水）</td><td>面　接＊</td></tr>
<tr><td rowspan="5">保健学類</td><td>看護学専攻</td><td rowspan="5">令和2（2020）年2月25日（火）</td><td>外国語　9：20～10：50
理　科　12：20～13：20
面　接　14：30～</td></tr>
<tr><td>放射線技術科学専攻</td><td rowspan="3">面　接　9：20～
理　科　12：20～13：20
数　学　15：10～17：10</td></tr>
<tr><td>検査技術科学専攻</td></tr>
<tr><td>理学療法学専攻</td><td rowspan="2">面　接　9：20～</td></tr>
<tr><td>作業療法学専攻</td></tr>
</table>

＊面接時間等の確認方法は，受験票に記載してありますので，受験票印刷後，確認してください。

9. 出願方法

○　インターネット出願の流れ

インターネット出願により行います。出願完了には下記（1）～（5）のすべての手続が必要です。

(1) インターネットによる出願情報の登録

(2) 入学検定料の支払

入学検定料　17,000円

入学検定料の他に，支払手数料として別途640円が必要です。詳細は，22ページの「12.入学検定料の支払」を確認してください。

(3) 証明写真のアップロード

(4) 出願書類等の印刷

(5) 出願書類等の郵送

インターネット出願登録サイトへは，金沢大学（入試情報）Webサイト（https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission）からアクセスできます。

出願書類を郵送する際は，市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に，インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷した宛名ラベルを貼り，書留速達で郵送してください。

提出先　　〒920-1192　金沢市角間町　金沢大学学生部入試課

〈注意〉
インターネット出願は，インターネットでの登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了とはなりません。出願期間内に，写真のアップロード及び21ページの提出書類を郵送（必着）し，不備がなかった場合，完了となります。

10. 出願期間

書類の提出は郵送（書留速達）に限るものとし，下記の期間内に**必着**とします。

ただし，インターネット出願システムは，人間社会学域（学校教育学類，国際学類）及び理工学域（全学類）は，令和元（2019）年10月11日（金）から，人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類）及び医薬保健学域（全学類）は，令和2（2020）年1月14日（火）から事前登録が可能です。

※締切日を過ぎて到着した出願書類のうち，**人間社会学域（学校教育学類，国際学類）及び理工学域（全学類）は，令和元（2019）年10月23日（水）まで，人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類）及び医薬保健学域（全学類）は令和2（2020）年 1月22日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理。**

学域・学類	出　願　期　間
人間社会学域（学校教育学類，国際学類） 理工学域（全学類）	令和元（2019）年10月21日（月）～10月25日（金）（必着） インターネット事前登録：10月11日（金）～
人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類） 医薬保健学域（全学類）	令和2（2020）年1月21日（火）～1月24日（金）（必着） インターネット事前登録：1月14日（火）～

11. 出願書類等

出願書類受理後は，いかなる理由があっても書類の返却，記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は，受理しません。

出願書類に不正な事実があった場合は，入学許可を取り消すことがあります。

(1) インターネット出願登録サイトでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	インターネット出願登録及び入学検定料支払後，登録完了メールに記載されているURLから，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 （注）志願者本人と判別できるもので，**カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影**した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。

(2) インターネット出願登録サイトから印刷するもの

出願確認票（提出用）	**インターネット出願登録後，申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷**し，提出してください。 （注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は，入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票（確認用）とは異なるので，注意してください。
宛名ラベル	**インターネット出願登録後，申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷**したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 （注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 封筒は，**市販の角形2号封筒（240mm×332mm）**を使用し，書留速達で郵送してください。

(3) その他必要な提出書類

修了証明書及び成績証明書	**出願資格（1）①の該当者** 教育課程等を修了（見込）の者にあっては当該課程の修了（見込）証明書（原本）及び成績証明書（原本）を，検定等に合格した者にあっては合格証書の写し及び成績証明書（原本）を提出してください。 **出願資格（1）②の該当者** 国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書（原本）を提出してください。 **出願資格（1）③の該当者** 一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書（原本）を提出してください。 **出願資格（1）④の該当者** バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績評価証明書（原本）を提出してください。 **出願資格（1）⑤の該当者** GCE Aレベルの成績評価証明書（原本）を提出してください。 **出願資格（1）⑥の該当者** 当該課程の修了（見込）証明書（原本），成績証明書（原本）及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類を提出してください。
日本留学試験の成績通知書（写し） （薬学類・創薬科学類は除く）	2018年度又は2019年度の6月及び11月に実施された日本留学試験のうち，いずれか1回分の成績通知書の写しを提出してください。 なお，上記4回の試験で複数回受験した場合は，その内1回分のみの成績通知書の写しを提出してください。ただし，学校教育学類，国際学類及び理工学域においては，出願期間の関係上，2019年度11月の成績は利用できません。
英語外部試験の成績証明書（写し） （TOEFL，IELTS）	「TOEFL-iBT」もしくは「改訂版TOEFLペーパー版テスト」の郵送で届いたスコア原本（表・裏）の写しを提出してください。（人間社会学域国際学類の志願者を除く） 人間社会学域国際学類の志願者は，「TOEFL-iBT」もしくは「IELTS（アカデミック・モジュール）」の郵送で届いたスコア原本（表・裏）の写しを提出してください。 （注1）TOEFLのスコアレポート（米国以外の地域への）郵送には，テスト日から4～6週間かかります。 （注2）**出願期間最終日時点で，各英語外部試験が定める有効期間内（2年間）のスコアに限ります。** （注3）いずれも**オンラインでダウンロードして印刷したスコアは認めません。**郵送で手元に届いたスコア（TOEFLの場合は「Test Taker（Examinee）Score Report」，IELTSの場合は「Test Report Form」）原本（表・裏）の写しを提出してください。 （注4）出願時に写しを提出した**スコアの原本は，入学手続の際に提出する**こととします。原本は，入学後に返却します。 （注5）原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は，入学許可を取り消すことがあります。
身上調書（私費外国人留学生用） （様式13）	本学（入試情報）Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上，本人が自筆で記入してください。
パスポートの写し	姓名及び国籍が記載されたページを提出してください。
在留カード（表・裏）の写し	**出願時に日本に居住している者（在留資格が「短期滞在」の者は除く）**は，在留カードの写しを提出してください。

（注）提出書類（厳封された書類は除きます。）のうち，日本語又は英語以外の言語で作成されているものには，必ず日本語の訳文を添付してください。

12. 入学検定料の支払

(1) 入学検定料　17,000円

入学検定料の他に，支払手数料として別途640円が必要です。

(2) 支払期間

人間社会学域（学校教育学類，国際学類），理工学域（全学類）
令和元（2019）年10月11日（金）～10月25日（金）

人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類），医薬保健学域（全学類）
令和2（2020）年1月14日（火）～1月24日（金）

(3) 支払方法

コンビニエンスストア，銀行ATM（Pay-easyでの支払），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）及びネットバンキング（ジャパンネット銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

（注）1. 銀行窓口での支払はできません。
2. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
3. クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。
4. **出願書類受理後は，いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。**
ただし，入学検定料の支払後，出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので，令和2（2020）年2月28日（金）までに下記担当へ連絡してください。
※開示請求手数料を支払っている場合，入学検定料と併せて返還します。

担当　財務部財務管理課出納係
〒920-1192　金沢市角間町
E-mail　syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

13. 受験票の印刷

以下の日程で，インターネット出願登録サイトより受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし，A4サイズで印刷してください。

人間社会学域（学校教育学類，国際学類），理工学域（全学類）：令和元（2019）年11月13日（水）
人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類），医薬保健学域（全学類）：令和2（2020）年2月13日（木）

(1) 受験票には，受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元コードがあります。必ずアクセスして確認の上，受験してください。
(2) 氏名等に間違いがある場合には，学生部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先　076-264-5169，5177～5179
(3) **試験当日は，印刷した受験票を必ず持参してください。**

14. 合格者発表

学域・学類	発表日時	発表場所	備考
人間社会学域 学校教育学類	令和元（2019）年 12月11日（水）午後3時（予定）	人間社会第2講義棟1階 学生課前掲示板 （角間キャンパス）	合格者発表は，受験番号のみを掲示します。 合格者には，合格通知書・入学手続要項を送付します。
人間社会学域 国際学類			
理工学域 全学類		自然科学本館正面玄関 （角間キャンパス）	
人間社会学域 人文学類，法学類， 経済学類，地域創造学類 医薬保健学域 全学類	令和2（2020）年 3月7日（土）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	

（注）金沢大学Webサイトでも合格者（受験番号）を発表します。
金沢大学（入試情報）Webサイト　https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

合格者であるにもかかわらず，合格通知書等が届かない場合は，下記に問い合わせてください。
問合せ先　学生部入試課入学試験係
E-mail　boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

Ⅱ．学生生活

1. 入学手続

(1) 入学手続期間及び手続方法

入学手続の詳細は，「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

なお，入学手続期間中に手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

学域・学類	入学手続期間	入学手続方法
人間社会学域（学校教育学類，国際学類） 理工学域（全学類）	令和2（2020）年2月12日（水） ～2月18日（火）（必着）	郵送のみ 持込み不可
人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類） 医薬保健学域（全学類）	令和2（2020）年3月15日（日）まで	郵送　3月14日（土）必着 持込み　3月15日（日）のみ

(2) 提出先

〒920-1192　金沢市角間町

金沢大学学生部入試課入学試験係（角間キャンパス本部棟）

2. 入学時に必要な経費

(1) 入学料

○　282,000円（予定）

（注）　上記の金額は予定額であり，入学時に入学料を改定した場合には，改定時から新入学料を適用します。

(2) その他必要な経費

学域・学類		保険期間	納入すべき保険料	内訳	
				学研災	付帯賠責
人間社会学域（全学類） 理工学域（全学類） 医薬保健学域（薬学類（※）・創薬科学類）		4年間	4,660円	3,300円	1,360円
医薬保健学域	医学類	6年間	7,800円	4,800円	3,000円
	保健学類	4年間	5,370円	3,370円	2,000円

※このほか，薬学類に進んだ場合は，5～6年次に別途保険料が必要です。

詳細は合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

3. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責）

金沢大学では，学生生活における事故に備え，**学研災及び付帯賠責への加入を義務付けています。**いずれの保険も，全国の大学・短期大学の学生を対象とし，公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。

学 研 災：国内外において，①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故，②通学中，学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠責：国内外において，正課，学校行事，課外活動又はその往復において，他人にケガを負わせた場合，他人の財物を損壊した場合等により，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。付帯賠責と学研災の両方への加入が必須です。

4. 入学料免除・入学料徴収猶予

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により，令和2(2020)年度から制度を大幅に変更する予定です。詳細は，別途本学Webサイト等でお知らせします。

5. 授業料の納入

○　授業料前期（第1・2クォーター）分　267,900円（予定）（年額　535,800円（予定））

授業料の納入方法は，本学指定の金融機関が，学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」とします。合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を確認し，直ちに手続きしてください。

（注）　上記の金額は予定額であり，入学時又は在学中に授業料を改定した場合には，改定時から新授業料を適用します。

6. 授業料免除

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により，令和2(2020)年度から制度を大幅に変更する予定です。詳細は，別途本学Webサイト等でお知らせします。

7. 金沢大学学生特別支援制度

本学に在籍する学生の学習・研究意欲を向上させるとともに，学生生活において国際交流・社会貢献に対する意欲を引き出すことを目的とした，**本学独自の支援制度**があります。

詳細は，次のWebサイトを参照し，各担当係に問い合わせてください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/special_support

8. 奨学金

本学で扱っている奨学金には，日本学生支援機構，地方公共団体及び民間育英団体の奨学金があります。主に学業成績が優秀かつ学資支弁の困難な学生を対象とし，学力・家計状況等を審査の上，貸与（または給付）の可否が決定されます。

(1) 日本学生支援機構の奨学金

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により，令和2（2020）年度から制度が大幅に変更される予定です。詳細は，別途本学Webサイト等でお知らせします。

(2) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学へ募集があった奨学金は本学Webサイト，アカンサスポータル等でお知らせしますので，希望する場合は，入学後に本学Webサイト等を確認し，案内に従って申し込んでください。

また，本学Webサイト等でお知らせする奨学金以外にも，各種団体が直接，個人応募を受け付けている場合があります。

(3) 外国人留学生の奨学金

私費外国人留学生には，主に次のような奨学金の制度があります。募集内容，応募手続等の詳細は，国際部留学企画課又は各学類の留学生担当係に問い合わせてください。

奨学団体名	奨学金の内容		支給期間
日本学生支援機構	月額	48,000円	1年
小林国際奨学財団	月額	150,000円	正規課程修了まで
ロータリー米山記念奨学会	月額	100,000円	最長2年
平和中島財団	月額	100,000円	1年
共立国際交流奨学財団	月額	100,000円又は60,000円	2年又は1年
SGH財団	月額	120,000円	2年

（注）奨学金の金額は，令和元（2019）年7月1日現在の実績（学域在学者対象分のみ）

9. 学生留学生宿舎

本学には，国際交流を促進しグローバル人材を育成することを目的に，外国人留学生と日本人学生が1つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の学生寄宿舎「北溟」があります。

「北溟」は空室がある場合に限り，入居者を募集します。入居申請方法等詳細は，金沢大学Webサイトを確認してください。

http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence

留学生は，各学類の留学生担当係へ入居を希望する旨をお知らせください。

宿舎名		北　溟（ほくめい）
所在地		〒920-1192　金沢市角間町
設置年月		平成29（2017）年4月
定員		外国人留学生　120名 日本人学生　　80名 ※1ユニット　外国人留学生3名　日本人学生2名
入居期間		原則2年間
募集人数		男子　若干名　・　女子　若干名　（ユニットは男女別）
個室		約10㎡　ベッド・机・椅子・本棚・クローゼット等
ユニット内共用部分		リビングダイニング・キッチン・トイレ・洗面洗濯・シャワー
生活費	寄宿料	月額　26,800円
	諸経費	月額　9,400円　※家具家電設備・光熱水費等
	合計	月額　36,200円

10. 学生寮

本学には，学生寮が2棟ありますが，いずれも令和5（2023）年3月で閉寮します。閉寮までの退寮を確約した者のみ入寮を許可します。

男子寮：泉学寮（せんがくりょう）
所在地 / 〒921-8031　金沢市野町5-8-10
定　員 / 168名　※居室は各室2人部屋
募集人数 / 約70名
寄宿料 / 月額　700円
諸経費 / 月額　約15,000円
※光熱水費，夕食弁当（希望者のみ）等

女子寮：白梅寮（はくばいりょう）
所在地 / 〒921-8034　金沢市泉野町2-13-1
定　員 / 140名　※居室は各室2人部屋
募集人数 / 約50名
寄宿料 / 月額　700円
諸経費 / 月額　約8,000円
※光熱水費等

(1) 入寮願の請求

下記のいずれかの方法で入寮願を取り寄せてください。

① 金沢大学Webサイトからダウンロード
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence

② 郵送による請求
返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し，94円切手を貼付）を学生支援課学生相談係あて送付してください。

(2) 入寮願の提出期間等

提出期間	提出先	選考結果の通知
令和2（2020）年2月12日（水）～2月18日（火）（必着）	26ページの「13. 申請書類等の請求及び照会先」参照	令和2（2020）年3月9日（月）

提出期間後の入寮希望者については，欠員がある場合に限り，入寮願の提出が可能です。提出期間が過ぎている場合は学生支援課学生相談係まで欠員の有無を確認してください。

【入寮願請求先及び欠員問合せ先】
26ページの「13. 申請書類等の請求及び照会先」を確認してください。

11. 保健管理センター

保健管理センターでは，学生の心身の健康の増進を図るため，医師，カウンセラー（公認心理師・臨床心理士），看護師，保健師等によって，定期健康診断，健康相談，学生相談，応急手当等を行っています。また，学生の心身の成長を支援する学生支援プログラムを提供しています。

12. 携帯型パソコンの準備

(1) 本学での学修，研究生活

インターネットが広く普及した現代のネットワーク社会で活躍できるように，本学の教育目標では，理系・文系を問わず「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線LAN整備が完了し，ポータルサイト「アカンサスポータル」をネットワーク利用の入り口としています。

入学者はそれぞれ携帯型パソコンを準備することで，ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り，パソコンから履修登録，授業での教員との連絡，e-learning教材による自習，レポートの提出，成績確認等を行います。更に，健康診断結果や，就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡をネットワークを介して行います。入学後すぐに開講する全学生必修科目「情報処理基礎」にて，受講者は各自の携帯型パソコンをネットワークに接続し，情報ネットワークの安全な利用方法，学類毎に必要なソフトウェアの利用方法等を学びます。

特別な事情がない限り，本学入学時までに携帯型パソコンを準備してください。

(2) 携帯型パソコンの条件

令和2（2020）年度入学者のための携帯型パソコンの必要条件，金沢大学生協から提供予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については，合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たしているパソコンを所有する場合には新たにパソコンを購入する必要はありませんが，新規購入を検討する場合には，合格通知に同封の情報を確認し，条件を満たすものを購入してください。

(3) マイクロソフト包括（全学）ライセンス

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア（Office等）についての包括（全学）ライセンス契約を令和2（2020）年度も継続する予定です。この場合，本学の新入学者は，Officeソフトウェア一式を無償で使用できますので，購入の必要はありません。

(4) 携帯型パソコンの無償貸与

経済的事情により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には，大学所有のパソコンを半年間（1回のみ更新可能）無償貸与します。**入学料免除申請者及び入学料徴収猶予申請者を対象学生**としますので，これらの申請時に貸与の申し込みを行ってください。

13. 申請書類等の請求及び照会先

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="3">請求及び照会先</th></tr>
<tr><td colspan="2">○入学料免除
○入学料徴収猶予
○授業料免除</td><td rowspan="6">〒920-1192
金沢市角間町</td><td>金沢大学学生部学生支援課
学生支援係
（本部棟2階）</td><td>電話　076-264-5164
Email stsien@adm.kanazawa-u.ac.jp</td></tr>
<tr><td rowspan="2">○奨学金</td><td>私費外国人留学生を除く</td></tr>
<tr><td>私費外国人留学生</td><td>金沢大学国際部留学企画課
留学支援係
（本部棟3階）</td><td>電話　076-264-5294
Email ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp</td></tr>
<tr><td colspan="2">○学生留学生宿舎</td><td rowspan="2">金沢大学学生部学生支援課
学生相談係
（本部棟2階）</td><td rowspan="2">電話　076-264-5167
Email gakuryo@adm.kanazawa-u.ac.jp</td></tr>
<tr><td colspan="2">○学生寮</td></tr>
<tr><td colspan="2">○学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険</td><td>保健管理センター
事務室
（本部棟1階）</td><td>電話　076-264-5254
Email soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp</td></tr>
</table>

Ⅲ．その他

1．入試情報の提供

(1) 金沢大学（入試情報）Web サイト

https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

内　　容	人間社会学域（学校教育学類，国際学類） 理工学域（全学類）	人間社会学域（人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類） 医薬保健学域（全学類）
学生募集要項の公表	令和元（2019）年9月下旬～	
出願状況 （学域・学類等ごとの志願者数及び倍率）	令和元（2019）年11月13日（水） ～令和 2（2020）年 3月31日（火）	令和2（2020）年2月13日（木） ～3月31日（火）
合格者（受験番号）の掲載 ※	令和元（2019）年12月11日（水）午後3時頃 ～令和2（2020）年3月31日（火）	令和2（2020）年3月7日（土）午後2時頃 ～3月31日（火）
入学者選抜試験実施結果 （志願者，受験者，合格者及び入学者数）	令和2（2020）年4月16日（木）～令和3（2021）年3月31日（水）	

※金沢大学（入試情報）Webサイトに掲載する期間を示します。各学類が指定する発表場所に合格者の受験番号を掲示する場合は，この限りではありません。

(2) 金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

金沢大学入試情報アプリ（スマートフォン利用者用）を開設しました。

本学の入試情報（入試日程，学生募集要項，入学者選抜方法等の変更／予告，インターネット出願登録サイト），学生募集イベント情報，学域・学類の紹介等を配信しています。

〈金沢大学入試情報アプリ〉
ダウンロード（無料）はこちらから

2．入学試験の個人成績の開示

出願時に志願者からの成績開示請求の希望を受け，本人の令和2（2020）年度入試の個人成績を開示します。

(1) 請求方法

① 成績開示を希望する志願者は，インターネット出願登録サイトにおいて出願登録の際に，試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。

② 「希望する」を選択した場合，**1回の出願につき開示請求手数料700円が別途必要**です。入学検定料と併せて支払ってください。

（注）出願後のメール，電話等による個別の開示請求は受け付けません。

(2) 開示内容

○ 本学が利用した大学入試センター試験の科目ごとの得点及び合計点（センター試験を課す入試のみ）

○ 個別学力検査等の科目ごとの得点及び合計点

(3) 開示の時期・方法

令和2（2020）年5月1日（金）から6月30日（火）の間に郵送により通知します。

開示通知書は，出願登録の際に通知等を受ける場所・本人連絡先に入力した住所に郵送しますので，出願以降，開示の時期までの間に転居する予定の志願者は，確実に受領できる住所（保護者住所等）を登録してください。（高校・予備校の寮等の住所は登録しないでください。）

6月末までに届かない場合は入試課入学試験係へ連絡してください。

（注）インターネットで開示する方法に変更する場合があります。出願以降，開示の時期までの間，確実に受信できるメールアドレスを登録してください。

(4) 問合せ先

金沢大学学生部入試課入学試験係

電話　076-264-6192（平日午前9時から午後5時まで　※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）

3. 個人情報の保護

金沢大学では，「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は，次の業務で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
(2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
(3) 入学後の本学ポータルサイト利用，学内LAN利用，図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
(4) 入学料免除，授業料免除，奨学生選考等の修学支援に関わる業務
(5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
(6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
(7) 卒業，修了者に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント），同窓会活動への支援等に関する業務
(8) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

4. 問合せ先

電話での問合せは，平日（月曜日から金曜日　※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）午前9時から午後5時の間で本人に限ります。

また，志願者本人がこの学生募集要項を熟読し，必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

(1) 入学試験関係

入学試験に関する問合せは，下記へ行ってください。

学生部入試課入学試験係	〒920-1192　金沢市角間町	電　話　076-264-5169，5177～5179　　FAX　076-234-4042 E-mail　boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により，発表内容や試験時間等を変更する場合は，金沢大学Web サイトに随時情報を掲載しますので，出願前や受験直前に必ず確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト　https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission

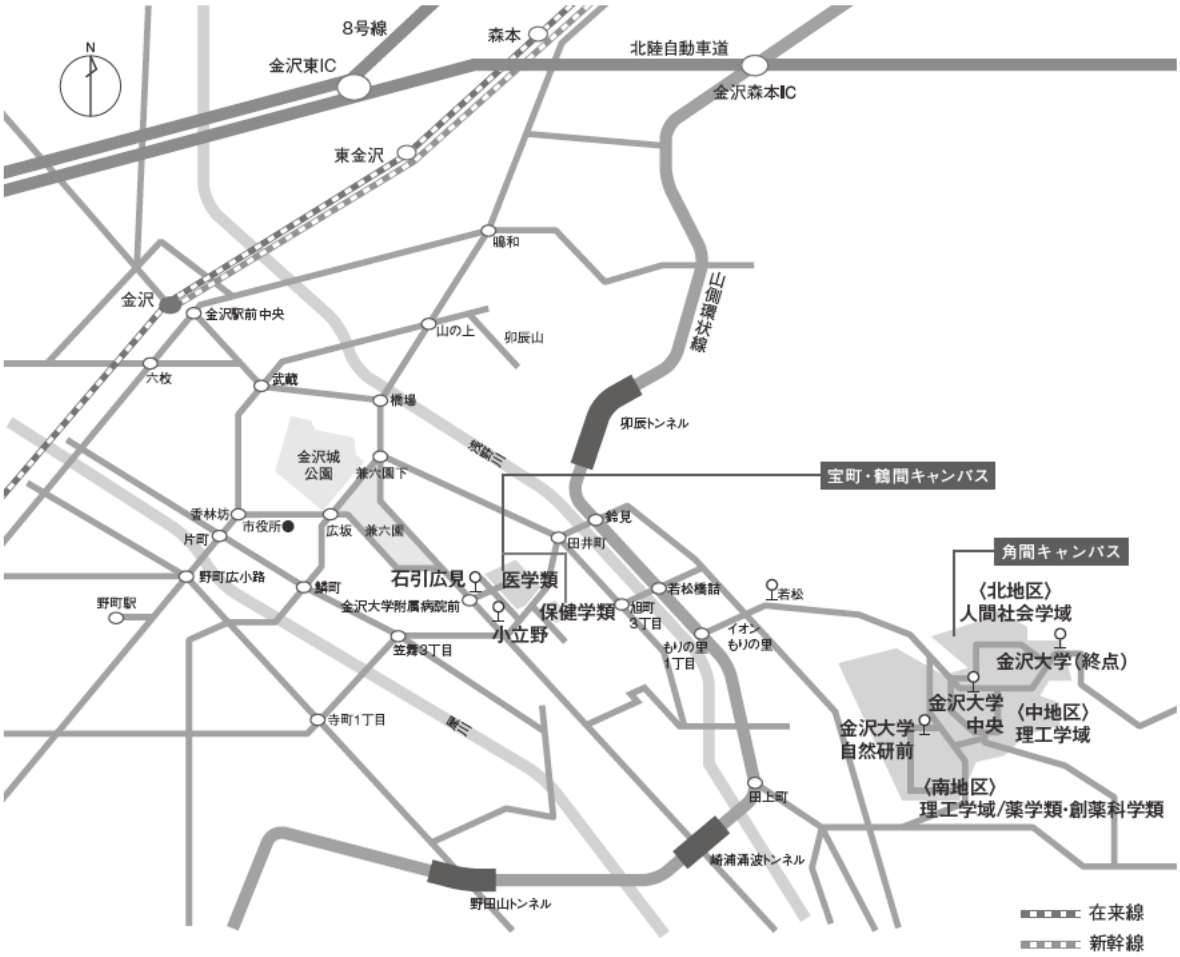
(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問合せは，下記へ行ってください。

学域・学類		問合せ先		
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部 学生課教務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話　076-264-5603 Email n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	法学類			
	経済学類			
	学校教育学類			
	地域創造学類			
	国際学類			
理工学域	数物科学類	理工系事務部 学生課教務係		電話　076-234-6831 Email s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	物質化学類			
	機械工学類			
	フロンティア工学類			
	電子情報通信学類			
	地球社会基盤学類			
	生命理工学類			
医薬保健学域	医学類	医薬保健系事務部 学生課医学学務係	〒920-8640 金沢市宝町13-1	電話　076-265-2125 Email t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp
	薬学類・創薬科学類	医薬保健系事務部 薬学・がん研支援課 薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話　076-234-6827，6828 Email y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	保健学類	医薬保健系事務部 保健学支援課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5-11-80	電話　076-265-2515，2516 Email t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp

付図

1. 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学　域　等	交　通　機　関
角間（かくま）	事務局（学生部） 理工学域 医薬保健学域 （薬学類・創薬科学類）	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学自然研前」下車 （JR金沢駅から約35分）
	人間社会学域	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学」終点下車 （JR金沢駅から約40分）
宝町（たからまち）・鶴間（つるま）	医薬保健学域 （医学類，保健学類）	JR金沢駅兼六園口（東口）又は金沢港口（西口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「湯涌温泉」「東部車庫（橋場町経由）」「北陸大学」「金沢学院大学（橋場町経由）」行きのいずれかに乗車 「小立野（こだつの）」又は「石引広見（いしびきひろみ）」下車 （JR金沢駅から約20分）

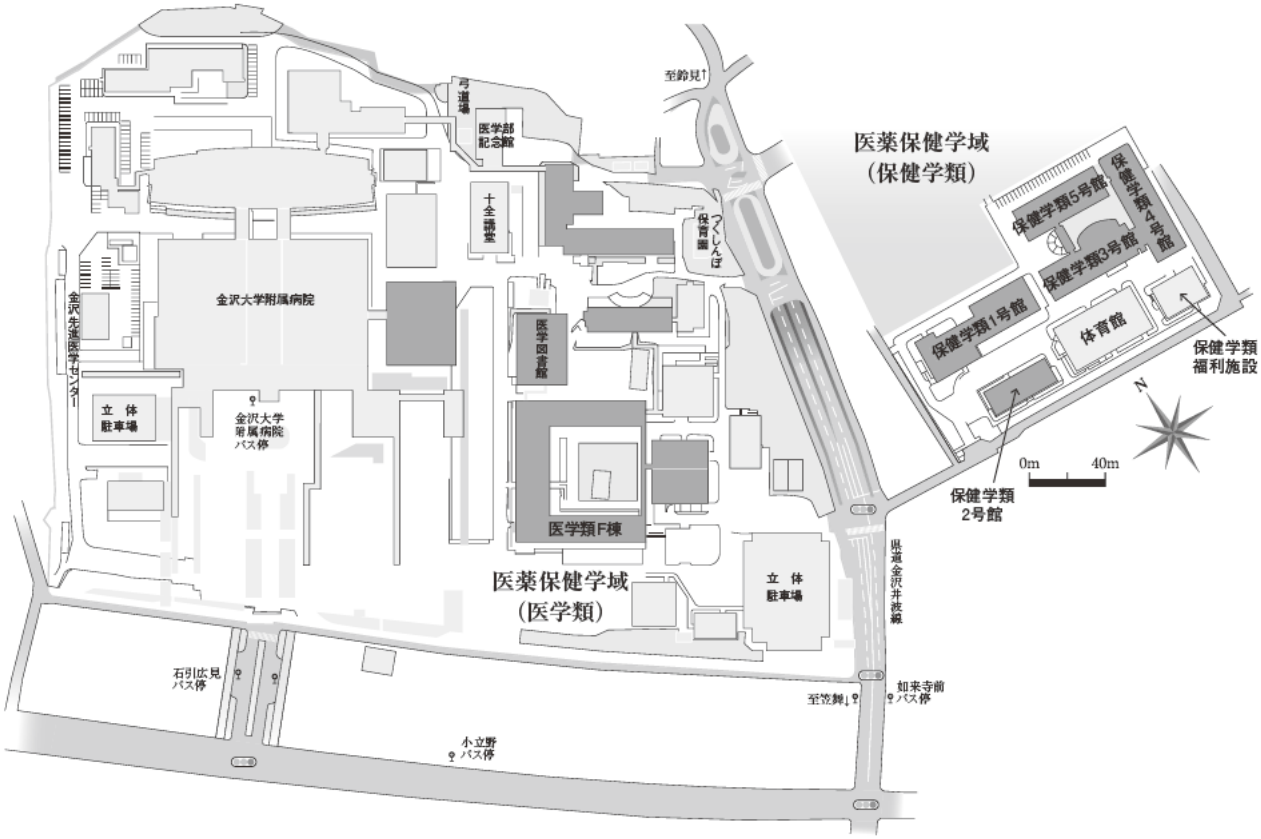
（注）乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で，利用してください。

金沢大学（アクセス・キャンパスマップ）Webサイト（https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/）

2. 金沢大学キャンパス配置図

1 角間キャンパス

2 宝町・鶴間キャンパス



（様式13）

※受験番号	

※印の欄は記入しないでください

令和2年（2020）年度　金沢大学

身上調書（私費外国人留学生入試用）

志願学域・学類等	学域　　学類　　専攻（保健学類のみ）			
志願者氏名	フリガナ		性別	国籍
	自国語		男・女	
	アルファベット	（Family Name）　（First Name）　（Middle Name）	日本在留資格（日本に居住している場合）	
	生年月日	西暦　　年　　月　　日生（2020年4月1日現在　　歳）	※2019年10月 2020年1月 出願時点	
志願者現住所	〒　　－ 携帯電話（　　－　　－　　）　電話（　　－　　－　　） Email アドレス（　　）			
上記以外の連絡先（日本国内）	氏名		志願者との関係	
	〒　　－ 携帯電話（　　－　　－　　）　電話（　　－　　－　　）			
志願者の自国の住所				

	区分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学校名	学校所在国名	特記事項
学校教育歴	初等教育（小学校）	年　月から 年　月まで					
		年　月から 年　月まで					
	中等教育（中学校）（高等学校）	年　月から 年　月まで					
		年　月から 年　月まで					
		年　月から 年　月まで					
		年　月から 年　月まで					
	初等教育及び中等教育の通算した年数						
	高等学校卒業以降	年　月から 年　月まで					
		年　月から 年　月まで					

資格取得	・国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格（フランス共和国） ・GCE Aレベル資格（取得した資格に○をしてください。）	取得年月	年　月

日本留学試験・受験年月（薬学類・創薬科学類は除く）	年　月	TOEFL・受験年月	年　月	選抜方法（国際学類のみ）（該当に○をしてください。）	・パターンA ・パターンB

（その他特記事項）

記入上の注意

1. 本様式は，**A4サイズで印刷の上，本人の自筆で**黒ボールペンを使用して記入してください。
2. 年号は**西暦**で記入し，欧文は活字体で記入してください。
3. 出願時点で日本に居住し，在留資格を有する場合は，日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
4. 上記以外の連絡先（日本国内）の欄は，志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名，志願者との関係及び連絡先（住所・携帯電話番号・電話番号）を記入してください。
5. 学校教育歴の欄は，小学校入学から記入してください。
6. 正規の修学年限の欄は，当該国の教育制度に基づき，学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
7. 修業年数の欄は，実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
8. 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には，正規の修学年限及び修業年数ともに，通算した年数を記入してください。
9. 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば，特記事項欄に記入してください。
10. 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」，アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は，その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
11. 学校教育歴に重複する期間がある場合は，その他特記事項の欄に説明を記入してください。

身上調書（私費外国人留学生入試用）記入例

（様式13）

※受験番号	

※印の欄は記入しないでください

令和2年(2020)年度　金沢大学

身上調書（私費外国人留学生入試用）

志願学域・学類等	人間社会　学域　国際　学類　専攻（保健学類のみ）			
志願者氏名	フリガナ	○○　○○　○○	性別	国籍
	自国語	○　○○	男・女	中国
	アルファベット	Xxx (Family Name)　Xx Xxx (First Name)　(Middle Name)	日本在留資格（日本に居住している場合）	
	生年月日	西暦 1999 年 10 月 5 日生（2020年4月1日現在 20 歳）	※2019年10月2020年1月3日出願時点	留学
志願者現住所	〒920－XXXX 金沢市○○町○丁目○○-○○　○○○○学生寮　301号室 携帯電話（090－XXXX－XXXX）　電話（076－XXX－XXXX） Emailアドレス（XXXXXXXX@△△△△.□□□□□）			
上記以外の連絡先（日本国内）	氏名	○○　○○	志願者との関係	友人
	〒920－XXXX 金沢市○○町○丁目○○○番地　もりの里マンション205号室 携帯電話（080－XXXX－XXXX）　電話（076－XXX－XXXX）			
志願者の自国の住所	中華人民共和国○○市○○区○○○○		（郵便番号：XXXXX）	

	区分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学校名	学校所在国名	特記事項
学校教育歴	初等教育（小学校）	2006年 9月から 2012年 7月まで	6		○○○○小学	中国	
		年 月から 年 月まで					
	中等教育（中学校）（高等学校）	2012年 9月から 2015年 7月まで	3	3	○○○○中学	中国	
		2015年 9月から 2018年 7月まで	3	3	○○○○中学	中国	
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
	初等教育及び中等教育の通算した年数		12	12			
	高等学校卒業以降	2018年 9月から 2019年 7月まで	4	1	○○○○大学	中国	中途退学
		2019年 9月から 2020年 3月まで		0.5	○○○○日本語学校	日本	

資格取得	・国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格（フランス共和国） ・GCE Aレベル資格（取得した資格に○をしてください。）		取得年月	年　月
日本留学試験・受験年月（薬学類・創薬科学類は除く）	2019年1月	TOEFL・受験年月	2019年 8月	選抜方法（国際学類のみ）（該当に○をしてください。）・パターンA・パターンB
（その他特記事項）				

記入上の注意
1. 本様式は，A4サイズで印刷の上，本人の自筆で黒ボールペンを使用して記入してください。
2. 年号は西暦で記入し，欧文は活字体で記入してください。
3. 出願時点で日本に居住し，在留資格を有する場合は，日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
4. 上記以外の連絡先（日本国内）の欄は，志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名，志願者との関係及び連絡先（住所・携帯電話番号・電話番号）を記入してください。
5. 学校教育歴の欄は，小学校入学から記入してください。
6. 正規の修学年限の欄は，当該国の教育制度に基づき，学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
7. 修業年数の欄は，実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
8. 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には，正規の修学年限及び修業年数ともに，通算した年数を記入してください。
9. 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば，特記事項欄に記入してください。
10. 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」，アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は，その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
11. 学校教育歴に重複する期間がある場合は，その他特記事項の欄に説明を記入してください。

【全体（共通）】
・**本人の自筆で**，黒ボールペンを使用して記入してください。
・年号は**西暦**で記入し，欧文は活字体で記入してください。

【志願学域・学類等】
・志望する学域・学類名を記入してください。
・理工学域の機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類の志願者は，理工3学類と記載してください。
・医薬保健学域保健学類の志願者は，志望する専攻名についても記入してください。

【志願者氏名】
・氏名は，自国語及びアルファベットの２種類を記入してください。

【日本在留資格】
・出願時点で日本に居住し，在留資格を有する場合は，該当する在留資格名を記入してください。
・**出願時点で在留資格を有しない場合は，「なし」と記入してください。**

【志願者現住所】
・志願者の現住所を記入してください。

【上記以外の連絡先（日本国内）】
・志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名，志願者との関係及び連絡先（住所・携帯電話番号・電話番号）を記入してください。

【学校教育歴】
・小学校入学から記入してください。

【正規の修学年限】
・当該国の教育制度に基づき，学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。

【修業年数】
・実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。

【初等教育及び中等教育の通算した年数】
・正規の修学年限の欄及び修業年数の欄ともに，通算した年数を記入してください。

【高等学校卒業以降】
・高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
　－ 大学，短期大学，専門学校等の当該国の教育制度において，正規の修学年限が定められている場合は，正規の修学年限の欄及び修業年数の欄に年数を記入してください。
　－ 当該国の教育制度においては，正規の修学年限が特に定められていない学校の場合は，正規の修学年限の欄は，記入不要です。

【特記事項】
・「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば，特記事項欄に記入してください。

【その他特記事項】
・大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」，アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は，検定の名称と合格年月を記入してください。
・学校教育歴に重複する期間がある場合は，説明を記入してください。